



診断なら 2022年 夏号

— 目次 —

- ◆ ご挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
 - 森昭彦元会長
 - 原田高峰元理事
 - 新会長：渡辺淳
 - 新副会長：保延薦
 - 新理事：山田章生
- ◆ 公募原稿・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
 - こんな症状ありませんか？（藤井謙昌会員）
 - 報告～調査研究事業～奈良のエコシステムとは何か？（上野浩二会員）
 - 事業会社経営への挑戦（阪本翔太会員）
 - 中小企業診断士が HUB になる意義（林大祐会員）
- ◆ 活動報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
 - 第 11 回通常総会（佐伯眞理事）
 - 奈良県立図書情報館様との共催「中小企業診断士による体験学習会 & 無料経営相談会」（上野浩二会員）
 - 活性化研究会（保延薦副会長）
- ◆ 研究会のご案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
 - 企業内診断士研究会
 - 共通 E D I 推進研究会
 - 活性化研究会
- ◆ 新入会員による自己紹介（順不同）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
 - 浅野郷子会員
 - 阪本翔太会員
 - 辰己浩平会員
 - 松村賢司会員
 - 西野友浩会員
- ◆ 8 月～12 月行事予定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21

10 年間 ありがとうございました



森 昭彦

本年の総会にて、会長を退任した森昭彦です。在任中は世話になりまして、誠にありがとうございました。総会の後に、たくさんの労いやお励ましのメールを頂戴したことにも御礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

先代の故石川会長が亡くなられた後を受けて会長の役に付きましたが、熱意に満ちた石川さんの運営を真似ることなどできるはずもなく、常にプレッシャーを感じながら役割を務めてきました。

目指したのは、「言いたいことを言い合える壁のない楽しい会」というイメージだけでした。それでも、総会や互例会にたくさんのメンバーが集まり、楽しそうに過ごしていらっしゃる姿を拝見している時には一番ホッとしました。ここ数年はコロナ禍であまり集まれていませんが、また有意義な情報交換会をワイワイとやりたいですね。

会の今後については、新会長の渡辺淳氏を中心にし、新しい理事会にて方向性を固めていくこととなります。皆様におかれましても変わらぬご協力を宜しくお願い致します。

私自身は、あと1期だけ、理事として残らせて頂くことになりました。最後のご奉公で、会の繁栄や知名度向上につながる活動をできないかと考えています。

どのような活動ができるのか、皆様のご意見もお聞かせください。宜しくお願い致します。

お世話になりました



原田 高峰

奈良県中小企業診断士会会員の皆様、7月からの酷暑そして7月中旬からのコロナ BA5 の感染急拡大の中にも拘わらず日々奮闘されていることとお察しいたします。さて私、原田高峰は本年6月の診断士会総会を持ちまして理事を退任させていただきました。平成25年に理事に就任させていただき主に「新春互例会」「総会」および懇親ゴルフコンペ「診友会」の準備を担当させていただいておりました。会員の皆様には互例会、総会時には多くの方のご参加をたまわり盛り上げていただきまして有難うございました。しかしながら本年・昨年・一昨年とこのコロナの影響で通常の開催が出来なかったことが心残りです。今後は佐伯理事が互例会・総会の開催を担当いたします。引き続き多くの方にご参加いただきますようお願いいたします。

なお「診友会」のほうはもうしばらく私が開催幹事を務めさせていただきます。この秋に開催と思っていたのですがこのコロナ感染急拡大で今どうしようかと迷っています。11月くらいだったら大丈夫かなとも思うのですがご意見ありましたらお願いします。

会長就任のご挨拶



渡辺 淳

この原稿を書こうとした 2022 年 7 月 8 日、安倍晋三・元総理大臣が逝去されました。謹んで哀悼の意を表し、心よりご冥福をお祈り申し上げます。安倍元総理のご逝去に、大きなショックを受けています。私たちが住み、働く奈良で、あってはならない悲劇が起こってしまいました。非常に残念で、とても悔しい思いでいっぱいです。安倍元総理が在任期間中に展開された多くの経済再生政策により、私たち中小企業診断士の活躍のフィールドもこれまで以上に広がりを見せ、プレゼンスも拡大したと心より感謝しております。ありがとうございました。どうか安らかにお眠りください。

さて、2022 年 6 月の総会において、私は森前会長の後を受け会長を拝命しました。11 年間という長きにわたり森前会長に率いていただいた当会の会長職を引き継がせていただくということは、大変光栄なことです。しかしながら、一方では責任の重さと大変なプレッシャーも痛感しています。理事の皆様、会員の皆様と協力しながら、当会のさらなる発展に邁進していく所存ですので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

振り返りますと、初代石川会長の逝去を受け、2012 年に森前会長が会長に就任されてからの間、当初数十名であった会員数は大きく増加、現在は 116 名（2022 年 7 月 8 日現在）に至るまでに拡大しています。また、当会の拡大と並行するように、不確実性・不可逆性の高まる中小企業を取り巻く経営環境の変化も伴って、中小企業診断士への期待もこれまで以上に高まってきました。

令和の時代に入り、新型コロナウイルス感染症の拡大や、ロシアによるウクライナ侵攻、安倍元総理の暗殺など、歴史の教科書を読んでいるかのごとくの出来事に、心がかき乱され、つらくなることばかりが起っています。不安が増大し、先の見えないこのような時代をどう生きるべきか、誰もが答えを持ち合わせているわけではありません。しかしながら、私たちは中小企業診断士としてのプライドをもって、このような時代に何ができるのか、どのように貢献できるのかを考え抜き、プロフェッショナルとして行動しなければなりません。奈良県を拠点とする中小企業診断士の集団として、国内企業数の 99%以上、雇用の 7 割を占めるといわれる中小企業の成長を支え、奈良県という地域、地方の経済を活性化するところから、日本経済の再生に貢献していかなければなりません。

令和 4 年度より、経済産業省、中小企業庁による「経営力再構築伴走支援」の全国展開が図られています。中小企業の規模等に応じて、地方経済産業局における官民合同チームによる中堅企業への成長を目指す地域未来牽引企業等を主な対象とした支援、よろず支援拠点による地域にとって重要で成長力のある中小企業への支援、地域経済・コミュニティを支える中小企業・小規模事業者などへの支援など、中小企業支援機関等が一定の役割分担を行いつつ、「経営力再構築伴走支援」を全国で幅広く実施していくこととなっています。これらすべてのスキームにおいて、私たち中小企業診断士が重要な役割を担うことは言うまでもありません。

「経営力再構築伴走支援」においては、中小企業経営者の自己変革力、潜在力を引き出し、経営力を強化・再構築することが求められています。そのために、対話と傾聴を基本姿勢とした支援により、経営者自身が取り組むべきことに納得し、当事者意識をもって能動的に取り組もうとする「内発的動機づけ」を適切に行い、経営者自身が問題解決を推進する「自走化」を実現していくことが、中小企業診断士にも求められています。

経営者自身が「答え」を見いだすこと、対話を通じてよく考えること、経営者や社内チームとともに考えること等を通じて、経営者の「自走化」を実現するための支援ができるよう、私たち自身の伴走支援能力と支援品質の向上を図っていかなければなりません。当会としても、理論研修、診断助言実務事業、研究会や勉強会、他の中小企業支援機関との連携、専門家派遣などを含む実践の場などを創造、開拓、運用し、会員の皆様に活躍の場を提供していきたいと考えています。奈良県の中小企業・小規模事業者の発展のため、中小企業診断士としてともに学び、実践し、進化していきましょう。

皆様、改めまして、これからどうぞよろしくお願い致します。

副会長就任挨拶



保延 薦

この度、副会長に就任致しました保延薦（ホノベススム）です。57歳、生駒市在住です。渡辺会長の下、より奈良県の中小企業のお役に立てる診断士会になるように尽くしていきますので、会員皆様もご協力をお願い致します。

具体的には、活性化研究会において会員皆様のスキルアップ等になる研究会を開催していきます。そのために、会員の皆様に講師のお願いをさせて頂くことがあると思いますが、ご協力をお願いします。また、他の士業や金融機関との連携を深めるための行動をしていきます。奈良の中小企業のお役に立てる連携ができるようにします。これからもよろしくお願い致します。

理事就任挨拶



山田 章生

このたび、奈良県中小企業診断士会の理事に就任させて頂きました山田章生でございます。診断士登録は2013年9月、当会への入会は同年11月で、今年で9年目とまだまだ若輩者でございますので先輩諸氏のご指導ご鞭撻を仰ぎたく宜しくお願い致します。

「常に地元の皆さまと共に、地元の発展に貢献する。」を経営理念とし1948年の創業以来、奈良県内の中小企業の発展に力を入れてきた奈良中央信用金庫に勤務する企業内診断士です。信用金庫職員として28年間地域金融に携り、創業から成長期、成熟期、事業再生、事業承継と企業のライフステージに応じたサポートを実践してきた経験を活かして微力ながらではございますが当会の発展に尽力していく所存でございます。

担当職務は「調査研究事業管理」と「研究会管理」を仰せつかっております。不慣れで会員の皆さまにはご迷惑をかけるかもしれませんが宜しくお願い致します。

こんな症状ありませんか？ 寝ている間に呼吸が止まることもある



藤井 謙昌

私は現在御所市内のクリニックで事務長として働いていますが、成人病はその兆候をできるだけ早く発見し治療を行うことが大切であることを日々痛感しています。そこで忙しくされている会員諸氏の健康管理の参考になればと思い、今回より数回にわたって「こんな症状ありませんか？」というテーマで、成人病の治療法などの解説をさせていただきます。初回は「寝ている間に呼吸が止まることもある」です。

1. 睡眠時無呼吸症候群（SAS）とは

睡眠時無呼吸症候群（SAS）は睡眠中に幾度となく呼吸が止まってしまう病気です。就寝後しばらくするといびきが始まり、だんだんと大きな音になった時に突然呼吸が止まり、しばらくすると息を吹き返し、数分するとまたいびきが始まるということを一晩中繰り返します。

しかし、本人には無呼吸の自覚がないため横で寝ている奥さんなどから指摘されてはじめてわかるというケースがほとんどです。



2. SAS を放置すると

睡眠中に無呼吸状態が頻繁に起きると、血液中の酸素の低下や中途覚醒による睡眠の分断等を招き、生活習慣病との合併症を引き起こします。健常人と比べると高血圧は 1.37 倍、夜間心臓突然死は 2.61 倍、脳卒中・脳梗塞は 3.3 倍までに発症リスクが高まるといわれています。また、睡眠の分断が日中の眠気や集中力の低下を招き、居睡りによる交通事故発生率は健常人の約 7 倍にまで高まります。

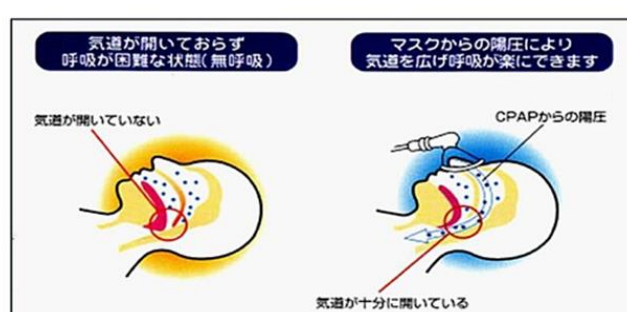
3. 検査について

SAS の検査は問診で自覚症状や睡眠の状況を申告することから始まります。気になる症状を医師に具体的に伝えるようにして下さい。問診の結果 SAS が疑われる場合には簡易検査を行います。簡易検査は自宅で携帯型の装置を就寝時に装着し、無呼吸の有無・動脈血の酸素量等を測定します。症状が重いと判断される場合にはすぐに治療へ進みますが、さらに精密な検査が必要な場合は、病院に入院して PSG 検査を行うことになります。PSG 検査では体に様々なセンサーをつけて呼吸の状態や睡眠の質などの検査が行われます。

4. 治療について

SAS については様々な治療法がありますが、代表的な療法である CPAP の紹介をします。CPAP は睡眠中に鼻に装着したマスクから適切な圧力をかけた空気を送り込み気道を広げる治療法です。対処療法ですが継続的に使用することで合併症の発生を予防することができます。装置は病院から借りることができ、費用は月 5,000 円程度（負担率 3 割の場合）です。私も SAS と診断され、毎日 CPAP を使用することで快適な生活を送ることができています。下の写真は私が CPAP を装着している様子です。

CPAP 装着の様子



＜報告：調査研究事業＞
奈良のエコシステムとは何か
～奈良から世界へシルクロード発進～



上野 浩二

2020～2021 年度に実施した調査研究「奈良のエコシステムとは何か」について、報告します。



【コロナ禍ではじまった新たなスタイルの調査研究】

今回の調査事業はコロナ禍での実施となり、対面中心からオンライン・ハイブリッドでの実施となりました。移動が制限され、思うようにリアルな活動ができない一方、逆にオンラインを活用することでこれまで気軽に会えなかった遠方の方とも対話することができました。



ハイブリッドに撮る人を撮る！



<Next Commons Lab 奥大和：
兼ロート製薬 生田優希さん>

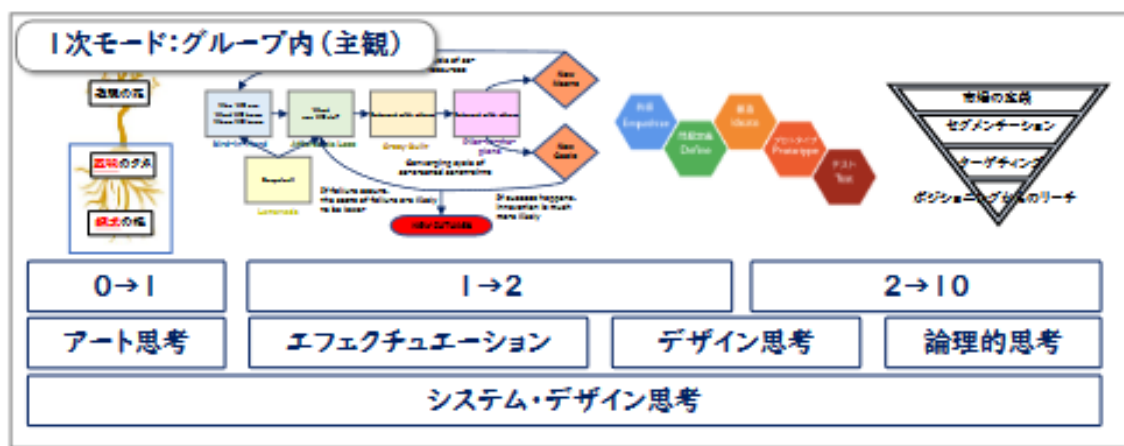
調査事業を進める上で、今回は少しチャレンジングな手法を取り入れました。中小企業診断士の強みは、その分析力（診断）にあるため、時にどうしても結論ありきで考えてしまう傾向があります。答え（目的）先行型の調査ではなく、プロセスそのものを楽しみ（手持ちの手段から始めてみる）、自分自身の書きたい欲求を報告書に表現するアート思考で進めていきました。そんなの当たり前前という当たり前の感覚を排除し、インタビューに協力いただける方々の声に素直に耳を傾け、感じたことを表現する。奈良のエコシステムを客観

的に評価するのではなく、自らもそのエコシステムの一部として、どうことができるかを自問自答してしました。

わたしたちが行動することで、調査対象の奈良エコシステムが広がっていき、それをまた行動で追いかけるという実践アクションリサーチでもありました。

Ⅱ. アプローチ手法 6. 全体像(グループダイナミクスとアクションリサーチ)

奈良エコ
システム



集団力学(グループ・ダイナミクス)の上で、客観的に対象物を見る。協働的実践をする中で、実践(対話)→観察研究→実践(対話)を繰り返す。1次モード(主観)と2次モード(客観)のスイッチを切り替えることで、より大きなベターメントを得る。

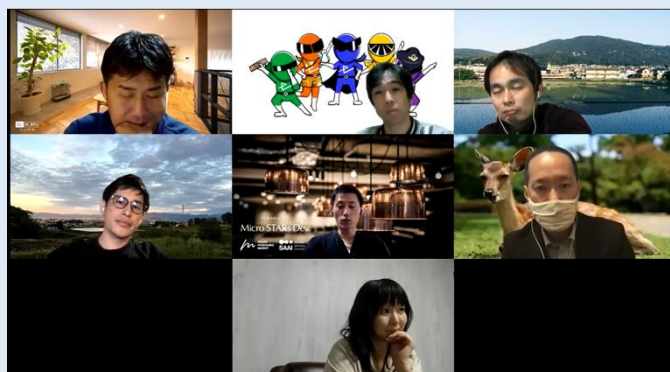
<参考: 実践アクションリサーチ デビッド・コフラン、テレサ・ブラニック(著) 永田 素彦、高橋 進、河村 尚也(監訳)>

今回は、それぞれが興味のあるテーマから探求の軌を伸ばしながら、奈良にまつわる関係者との共創に向けた対話(インタビュー)を行う形式とした。調査研究対象である奈良エコシステムそのものに自分自身も入り込み、現場のベターメント(改善・改善)を考えるという、アクション・リサーチを行った。

9

【インタビューからの様々な気づき (関東の奈良県出身者の方々との交流)】

診断士というのは常々「蜜蜂の役割」も1つの存在意義ではないかと感じています。蜜蜂は様々な花から蜜を吸って栄養を摂っているが、その際に花粉を花から花へ届け、受粉を助けています。我々診断士も場と場を繋ぎ合わせる事を得意としており、それを行うことが「奈良のエコシステム」を上手く発展させるための一助になるのではないかと感じました。



<ZOOM でのインタビューの様子>



福井 健司

Startup Weekend NARA主催者



高岡 恭仁

香芝在住東京勤務の起業家支援



平岡 仁志

01Booster：事業創造支援

関東奈良県民 × 奈良県中小企業診断士会



2021.03.12(fri) 20:00~

< 関東奈良県民の方々との対話イベント >

方をするべきではあるが、コロナ禍で「観光」「インバウンド」という奈良の強みが活かせないという課題に直面した今、長期的に考えると「関心がない」という事では済まされないのではないかという危機感を抱いています。

「奈良のエコシステムの形として、奈良に今いる方々の潜在需要にアプローチして、そこから街が発展して、外から人がやって来るという構造が理想ではないでしょうか？コミュニティで事業を創っていく良さを地域から出していくことが診断士の皆さんと出来たら幸せですね」

【奈良のエコシステム座談会】

「奈良のエコシステム」を活性化するには、奈良県内企業の成長が不可欠なはずですが、現在、県内の上場企業は6社しかなく、奈良のエコシステムが活性化しているとはいえない状況です。それは、新型コロナウイルスの流行が要因ではなく、流行する前から奈良に大規模企業は育っていなかったことがあげられます。では、奈良は困っているのか、と聞かれれば、それほど困っていないようにも見えます。の恵まれた環境にあるのかもしれません。

今回はある種「目に見える」課題に対しての対策としてのアイデアについて対話を広げていき、紹介させていただきましたが、対話の中でもう1つ大きな気づきであり問題提起があったので紹介します。

「奈良のエコシステムが上手く回っていないと感じているのは、そもそも奈良の人達が不満を感じていない。一部の人が声を挙げているだけではないか？」ということ。

そしてこの点に関しては、「不満がないというよりは関心がないのではと感じている」という言葉があり、一理あると感じました。

奈良が今まで発展・成長してきた歴史や県民性等、様々な事を鑑みて見合った進め

奈良にフォルケホイスコーレを作りたい

～教育革命でWell-beingな生き方を実践する社会を～

【奈良フォルケ主催】

奈良ではじめる新しい学びの形

大人の学び直しについて

一緒に考えませんか？

森のようちえんスタッフ Chihiro

元フォルケ生 Ikuo

元フォルケ生 Miyu

元フォルケ生 Kanako

森のようちえん×デンマーク発祥フォルケホイスコーレ 異なる視点から大人の学び直しについて ホードメンバー4名とセッション

開催日時:2月12日(土)13:30 15:00

無料オンラインセミナー

奈良フォルケ
ポードメンバーです！

< 宇佐美 夏菜さんからの活動報告
「奈良フォルケホイスコーレ」 >



< 対話する金融系副業人材 林大祐さん >

大阪・京都という大都市と隣接しており、そこで働く人々が奈良に住むため、奈良に企業がなくても、住民がいる。また、歴史があり、神社仏閣等の観光資源にも恵まれているため、空港も港も無いが、観光客を呼ぶことができます。つまり、大企業が存在しなくても、企業が成長しなくても、ある程度の「奈良のエコシステム」は機能しているとも言えます。今回、話を聞かせて頂いた方たちは皆、奈良に縁があり、現在の仕事や住所が奈良を離れていたとしても、奈良に熱い

想いを抱いていました。「いつかは奈良に恩返しをしたい」と考えながら、奈良を離れて活動している人たちが大勢いることも、改めて分かりました。

「奈良のエコシステム」を活性化する鍵を握っているのは、そのような想いを抱く方たちの可能性が高い。今は皆それぞれが個別に活動していますが、皆が繋がれば、とてつもない力になっていくエネルギーと可能性を感じる時間でした。

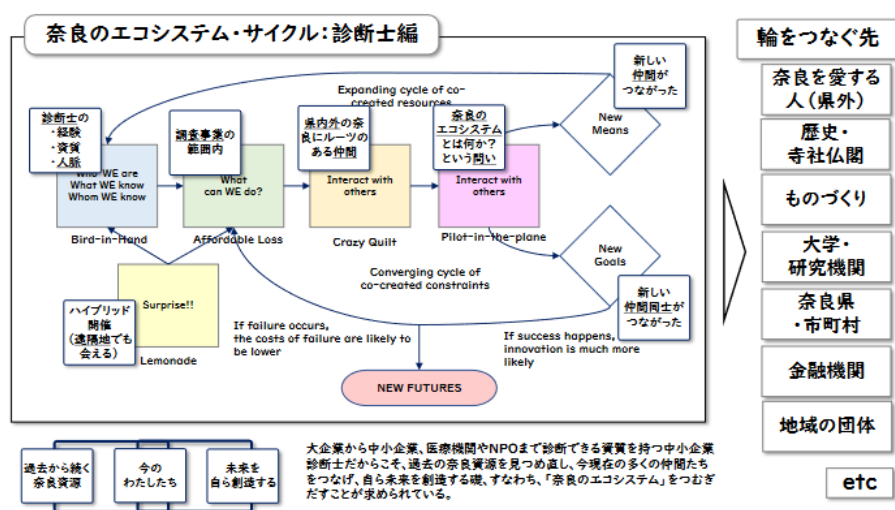
私達、奈良県の中小企業診断士が持つネットワークをいかして「奈良に想いを抱く人々」のハブになれた時が、「奈良のエコシステム」が活性化するときなのかもしれません。



奈良を人と仕事が集まる場所へ
キャリアコンサルタント 高橋紀子さん

VII. 振り返り ひとり人が行動すれば、自ら世界を創造することができる

奈良エコシステム



35

【改めて、奈良のエコシステムとは何か】

傍観者とならず、大企業から中小企業、医療機関やNPOまで診断できる中小企業診断士だからこそ、過去の奈良資源を見つめ直し、今現在の多くの仲間をつなげ、自ら未来を創造する礎がすなわち、「奈良のエコシステム」であることに気づいた調査研究でした。

V. 座談会 Ⅰ. 概要

奈良エコシステム

これまでの考察をさらに深く掘り下げるべく「奈良のエコシステム」をテーマに座談会を実施した。ただし、新型コロナウイルスによって大々的なイベントを実施することができず、感染症対策を行いながら、リアルとリモートのハイブリッドで実施した。

日時:2022年1月30日(日) 午前8時~12時
会場:ならまち昆虫館 2F大会議室(奈良県奈良市南城戸町28-13)



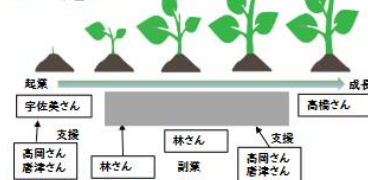
<写真上 ならまち昆虫館 / 写真下 座談会会場の様子>

奈良は朝早くから活動する町であることを意識し、当イベントは朝8時にスタート。リアル・リモートあわせて5名のゲストを迎えた。

時刻	内容	分
7:00	準備・設営	30
7:30	開場	30
8:00	オンライン座談会1 宇佐美 夏菜さん	60
9:00	座談会2 林 大樹さん 高橋 紀子さん	60
10:00	座談会3 高岡 幸子さん 唐津 凌介さん	90
11:00		
11:30	まとめ	30

ゲストには
・奈良で起業を考えている起業家
・起業家支援者
・奈良で起業し経営中の企業家
の方をお願いした。
意図していなかったが、結果的に複数の顔をもつ方が多く、様々な面から意見が交わされた。

■ゲストの位置づけ



22

事業会社経営への挑戦



阪本 翔太

【ご挨拶】

2022年6月より奈良県中小企業診断士会に入会させて頂きました。阪本翔太と申します。入会したばかりで恐縮ですが寄稿させて頂きます。私が掲げる目標の1つである「事業会社を経営し、社員を雇用すること」を達成する為、2022年8月より法人を設立することにしました。（厳密には個人事業主からの法人成りです）

【事業内容】

事業内容は中小企業に対して“必要な分だけ必要なIT人材を貸し出す”サービスになります。タイムズカーシェアリングのIT人材バージョンと想像してもらえると分かりやすいかと思います。サービス名は、かつて神武天皇を大和の橿原まで導いたと伝えられている八咫鳥に因み、中小企業をIT活用に導く存在として“ヤタガラス”と名付けました。

【事業背景】

企業においてIT活用を進める為には「良いIT人材」と「良いITツール」の両方が必要です。ここで言う「良いIT人材」とは、プログラミングが出来るエンジニアではありません。業務に合ったITツールを選定でき、ITベンダーと共通言語で会話ができる人材を指します。乱暴な言い方をすれば、“ITリテラシーの高い人”です。（さらに経営知識や業務知識があれば、なお良しです。）

しかし、「良いIT人材」は大企業に吸収され、中小企業では枯渇しています。採用も社内育成も難しい状況なので、今後は外部IT人材を利用していくことが求められていきます。

このサービスを普及させる為には、外部IT人材を活用することに対して“価値を感じてもらうこと”が非常に重要であり、ITという見えにくく分かりにくいものをどれだけ可視化できるかが自分の腕の見せ所だと感じています。

ありがたいことに、本件については既に奈良商工会議所様にもたくさんご協力頂いております。診断士としてご訪問することもあれば、事業者として相談する為にご訪問することもあるという状況です。（先日は商工会議所様のご紹介で、とある診断士の方に販路開拓の相談をさせて頂きました…。笑）

【さいごに】

経営者×診断士というシナジーを活かし、どちらも全力で取り組んで参ります。ご協力して下さる方、応援して下さい方がいらっしゃいましたら、お声掛け頂けると幸いです。今後とも何卒宜しくお願い致します。

Mail : shota.sakamoto@palette-tech.com

Tel : 080-4395-3266

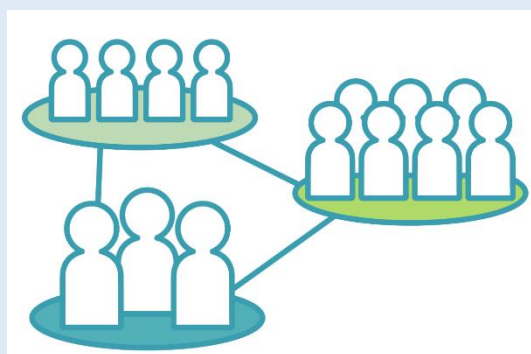
中小企業診断士が HUB になる意義



林 大祐

(なりし価値起点イノベーターズ代表)

1. 中小企業診断士が「コミュニティ間の HUB」になると世界が変わる



中小企業診断士の強みの一つが「ネットワーク間の HUB になれる事ではないでしょうか？」数百人から数千人のネットワークに身を置かれている先生方も大勢いらっしゃると思います。

Zoom が当たり前になり、地域を超えた交流が全国的に広がっていますが、そこで運営やサポートをする中小企業診断士に大勢出会います。ある交流グループで知り合った方々が仲良くなると、また別の場で交流が始まります。するとネットワークの数珠繋ぎが徐々にできます。

2. 業界専門誌に掲載されました

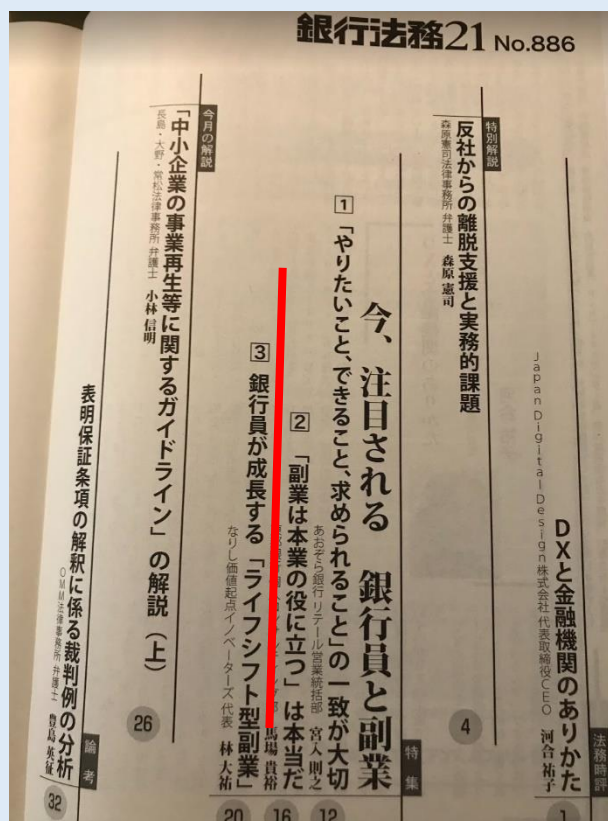


【1. 診断士は HUB になれる】

私は銀行員のコミュニティでも中小企業診断士の得意技を活かして複数のコミュニティをグルーピングして見えています。取り組んでいることや目的は違うのですが、「こうなって欲しい」と考えている事」が共通するグループは多数あります。診断士は経営レベル、事業レベル、オペレーションレベルと頭の中で全体を俯瞰してから話をしていますが、それは診断士ではない人からすると普通の見え方ではありません。当然、気が付いたら一緒にやろうとなりますので気づかれた際には教えてあげてください。

【2. ライフシフト型副業】

私は様々なコミュニティでの研究・交流活動をインプットとしてアウトプットの一部として副業をしています。7 月に発売



された「経済法令研究会の銀行法務 21」という銀行業界では有名な業界誌があるのですが、7月号で人的資本経営が注目される時代の銀行員の副業特集が企画され、銀行業界では実践者がまだまだ少ないため、ロールモデルの一人として執筆する機会を得ました。

他の人から見れば多数のコミュニティで活動しているように見えますが、私の中ではピーター・センゲの「学習する組織」などで有名なシステム思考の考え方で相互作用を与え合いながらつながっている影響し合う一連のコミュニティだと解釈しているので、混乱するというよりもそこがつながっていないと分からないので参加しておこうという考えです。

私が多数のコミュニティ活動をインプットとして取り組んでいるのは、悩みを共有しているコミュニティと課題解決に向けた研究をしているコミュニティが別々に存在してそれらがつながっていないからです。双方がほんの数名同士でも交流を始めればどちらのコミュニティに対しても良い影響が出てきます。一つそれが成功事例として出て

くれば、次から次へと他の誰かも同じ様に取り組み始めます。それでも足りない時は自分で作ってみます。

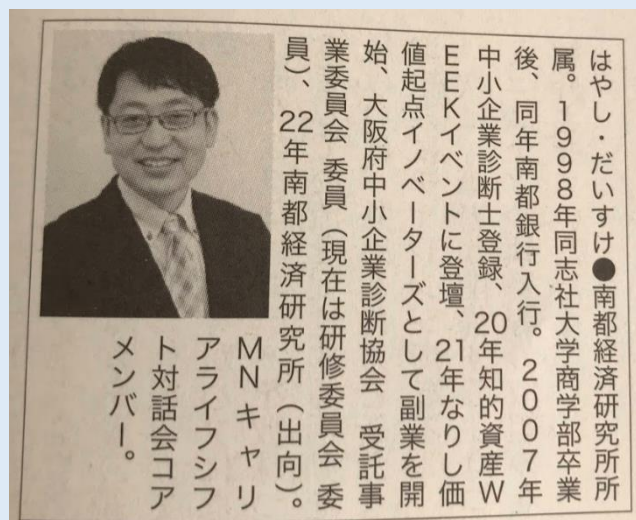
私の取り組みは「前回の診断なら新年号」でもご紹介しましたのでよろしければご覧ください。

余談ですが、特集記事では私が所属するコミュニティとして奈良県中小企業診断士会からも「活性化研究会」と「企業内診断士研究会」の名称と「診断なら」2021年夏号と2022年新年号の執筆記事を参考資料として紹介しましたので、全国の銀行員がその際にみなさまの記事を目にされることがあるかもしれません。何かご縁ができた際にはお知らせ頂けると幸いです。

経済法令研究会 銀行法務 21 7月号ウェブサイト

https://www.khk.co.jp/book/mag_detail.php?pid=53251

3. 業務委託型の肩書は「コアメンバー」



今回の執筆での新たな発見はプロフィール欄でした。

毎回、力を入れていることをPRできる様に内容の見直しを行っているのですが、「MN キャリアライフシフト対話会コアメンバー。」を最後に入れることにしました。

業務委託型の副業を表現する方法を模索していたのですが、「コアメンバー」これがしっくりきました。次はどんなコアメンバーになっているのだろうか？そんなことを考えるとワクワクしてきます。

第11回通常総会 活動報告



佐伯 眞

令和4年6月17日（金）に第11回通常総会を開催しました。
総会開催前に、森昭彦会員の永年表彰を行い、出席会員93名（うち委任状76名）で行いました。
最初、森会長から挨拶があり、第一号議案から審議に入りました。



永年表彰



議案説明

議案説明は渡辺事務局長が行い、会員数が113名となったこと、コロナ禍により思うように会活動が出来なかったこと、受託事業では奈良県信用保証協会、奈良県中小企業団体中央会、大和高田商工会議所、奈良中央信用金庫、

奈良県立図書館等の事業を行なったことが報告されました。また会員向け研修事業、調査研究事業、研究会では、研究会活動が低調であったこと、理論政策更新研修、調査研究「奈良エコシステムとは何か」の実施等が報告されました。

そして、令和3年度正味財産増減計画書、貸借対照表の説明があり、監査報告があったのち、審議を行い、第一号議案は承認されました。

第2号議案は森会長から説明がありました。現在奈良県の支援行政機関等に多くの会員が関わっており、事業再構築補助金、ものづくり補助金、小規模事業者持続化補助金も継続して実施され、会員自らスキルを上げていくことが必要であるので、会としても会員に対して支援をしていくことの提案がありました。会運営として、人財データベース更新と公開、県内支援機関への受託掘り起し、当会の認知度向上や収益源の確保につながる活動への支援、会員向け研修事業、調査研究事業、研究会事業、広報事業の内容説明等があり、渡辺事務局長より収支予算の提案があったのち、審議を行い、第二号議案は承認されました。

第3号議案では、森会長から役員改選の提案があったのち、審議され、第3号議案は承認されました。

理事及び監事メンバーとして、渡辺淳会長、堀越一郎理事（副会長）、保延薦理事（副会長）、渡邊武久理事（事務局長）、森昭彦理事、岸克行理事、本田秀次理事、戸森宣昭理事、佐伯眞理事、山田章生新理事、坂本昌弘監事、田中俊男監事となりました。



監査報告



渡辺新会長

奈良県立図書情報館様との共催 「中小企業診断士による 体験学習会 & 無料経営相談会」 2022 年度上期（5 月～7 月） 活動報告



上野 浩二

企業内診断士研究会では、2013 年度より奈良県立図書情報館様との共催で、「中小企業診断士による体験学習会&無料経営相談会」を行っています。今回は、5 月、6 月、7 月に実施した内容について報告いたします。

【2022 年度上期テーマ一覧】「女性・若者向け 3 回シリーズ」として実施

日程	講師	内容
5 月 15 日（日）	梶 純子	仕事も家庭もどちらも幸せ！ママ起業で私らしく働く
6 月 12 日（日）	長 雅規	スマートプライシング入門～知っておきたい値決めの法則～
7 月 10 日（日）	香川 登志雄	「創業超入門（女性・若者編）」

今回は、「女性・若者」を対象に、3 回シリーズで構成してみました。すると、奈良県や奈良市の広報紙などを見た方々から、開催史上最高のお申込み・参加を頂くことができました。アンケートでは、これまで診断士という存在を知らず、このような有益な機会であれば積極的に参加をしたい、という声が寄せられました。起業を志す女性や若者の方々に、診断士を知ってもらい良い機会となりました。

【初回は、ママ起業家の梶さんからスタート！】

2022 年 5 月 15 日（日）に、「仕事も家庭もどちらも幸せ！ママ起業で私らしく働く」と題し、会員の梶純子氏が講義を行いました。この日は、12 名の申込があり、当日は 8 名の方が受講されました。また同時に開催している無料経営相談も 2 件ありました。



私らしい起業をするために、ワークライフバランスを考える

本日の内容

- 仕事は与えられるより、自分で創り出すほうが楽しい
- ママの収入が増えるのとババの税金が増える？ 悩ましい問題
- 私らしい起業をするために、ワークライフバランスを考える**
- 売上、利益、税金、手続など起業にあたってのポイント

＜ママ起業家向けのわかりやすい資料＞



女性参加者との交流を促す梶講師

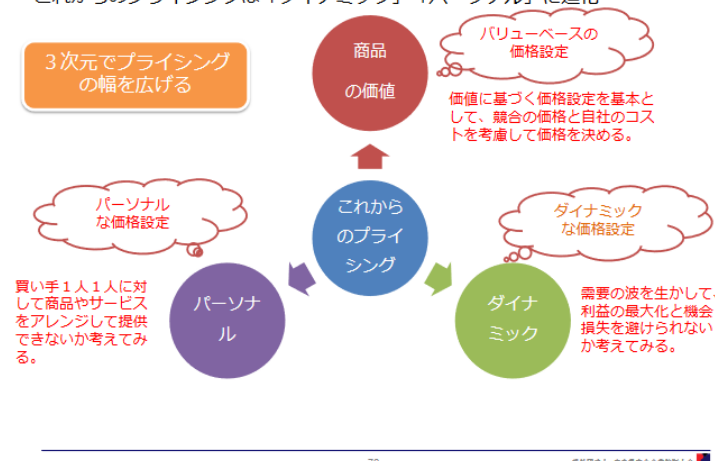
講義では、女性、特にママが起業をする際の心構えや税金などの理解、ワークライフバランスなどについて、説明がありました。また、参加者の方々がより受け入れられるように、質疑なども積極的に取り入れられました。

参加者からは、「起業したい気持ちが高まった」、「初めて知ることがいろいろあって勉強になりました！」、「第 2 回、第 3 回も参加したいです！」ととても好評でした。

【第2回は、誰もが悩む「スマートなプライシング」について！】

これからのプライシング

これからのプライシングは「ダイナミック」「パーソナル」に進化



値付けに関する丁寧な説明資料

続いて6月12日(日)に、「スマートプライシング入門～知っておきたい値決めの法則～」と題し、会員の長雅規氏が講義を行いました。この日も14名の申込があり、10名の方が受講されました。また同じく無料経営相談も2件ありました。



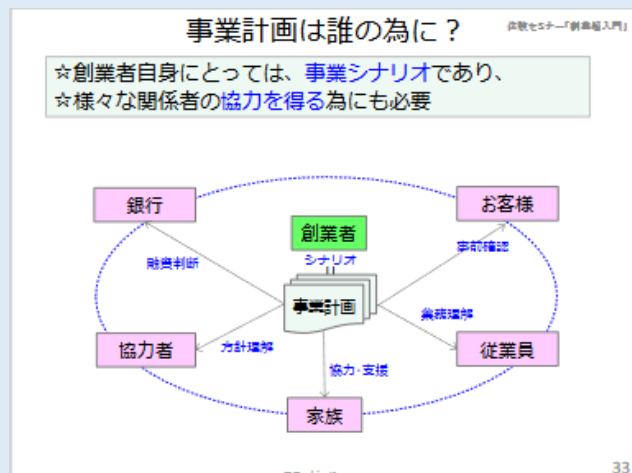
講義では、商売・サービスを提供する上で誰もが悩む「値付け（プライシング）」について、基本的な考え方から新時代のトレンドまで、丁寧に説明がありました。

参加者からは、「いままでフワッとしていたことが、しっかりと体系づけて理解することができました」、「一人だけでは思いつかないようなことを教えてもらえました」、「値付けに悩んでいましたが、前向きなイメージを持つ事ができました」など、満足度の高いコメントがたくさん寄せられました。

【第3回は、創業を見える化してみる】

シリーズ3回目は7月10(日)に、「創業超入門（女性・若者編）」と題し、会員の香川登志雄氏が講義しました。この日も15名の申込問い合わせがあり、当日は8名の方が受講されました。

講義では、奈良よろず支援拠点での経験を活かし、創業者や創業準備者の目線に立ったわかりやすい講義を実施しました。また、ときおりミニワークを取り入れるなど、参加者の理解を深める工夫が随所に散りばめられていました。



<創業計画を見える化する必要性>

参加者からは、「創業をする大まかな枠組みがイメージできました」、「起業に向けて一歩進める気がします」といったコメントがありました。また3回シリーズへの期待として、「奈良県で起業した人の交流会などあれば参加したい」、「このような機会をもっと増やしてもらえたら、ぜひ三冠をしたい」という力強いコメントもいただきました。

下期も3回（11月、12月、1月）を予定し、準備を進めています。日程やテーマ等決まり次第、図書館様のホームページやチラシなどでお知らせをする予定です。



ワークの解説をする香川氏

活性化研究会活動報告



保延 薦

活性化研究会を担当しています保延薦（ホノベススム）です。前年度は、インボイス制度、再生等の研究会を開催させて頂きました。狭い場所で開催し、期限前に締切してしまいご迷惑をおかけして申し訳ございませんでした。

当研究会は、会員だけでなく広く参加者を募り参加者のスキルアップと参加者の交流の場となることを目指しています。残念ながら新型コロナの影響でできなかった懇親会を、復活させたいと考えています。今年度は皆様からの要望に応じた内容での開催に加え、金融機関、他土業、経済団体等から講師をお招きして、より皆様のお役に立つ研究会を開催予定ですので、是非ご参加ください（なお、申し訳ございませんが、会場の賃借料の一部をご負担頂いています。）。

研究会のご案内

企業内診断士研究会	
活動内容	奈良県立図書情報館様と連携した「体験セミナー&無料経営相談会」を中心に活動しています。 設立当初は、企業内診断士を中心とした「実務ポイントの獲得とメンバーのスキルアップを目的とした活動」でしたが、近年は企業内を卒業される方も増え、多彩なメンバーで活動しています。
会員数	14 名
開催頻度	体験学習会&無料経営相談会を年間 6 回企画実施
入会申込み先	代表 上野浩二 effectuation007@gmail.com
活動の魅力	奈良県図書情報館という知的で落ち着いた空間で、ご自身の研究や経験を活かした体験ができます。「奈良のため」、「次世代のため」、その知見を最大限発揮してみませんか？

共通 E D I 推進研究会	
活動内容	当研究会は、コロナ禍発生前の 2019 年、ITC 協会が基本仕様を決定し、普及を推進している「共通 EDI ツール」を、中小企業診断士がかかわっている中小企業に普及させることを目的に発足したものです。この研究会の活動を開始した直後、コロナ禍が襲来し、活動を中断しているのが現状です。 活動中断後 3 年が経過し、そろそろ活動開始しようかなと思っていた矢先、第 7 次感染が急激に拡大し、またまた活動休止を継続せざるをえなくなってしまい全く

	残念な限りです。しかし、当会の活動はともかく、勸進元である ITC 協会の活動はそれなりにすすめられており、このツールの普及についての実態が見えてきています。 前回までのこの研究会のありかたでわたくしが申し述べてきた「今後1年で、もっとシンプルな機能を低価格かつ導入支援なしで適用できるよう、診断士版共通 EDI ツールを開発する」ことが、ITC 協会としても現実の課題となっていており現在の共通ツールのレベルアップが図られる予定です。 これらの課題は、業界内では ITC 協会の塊通ツールとは別に、中小企業庁と中小企業向け EDI ツールを独自に自社のパッケージとして販売している弥生会計等が中心となって EDI ツールの共通化を行っている動きで解決できます。この動きは、3年後に全取引に適用が法制化されている「インボイス制度」をターゲットとしており、インボイス制度導入のためのツール適用必須要件としようとしています。インボイス制度については「診断なら2021年新年号」にわたしが寄稿していますので再読ください。 さて、研究会発足後、以上のような環境変化があり、研究会も活動方針を変更したいと思います。「中小企業診断士版共通 EDI ツールでインボイス制度を支障なく適用すること」が新しい活動方針です。共通 EDI ツールそのものは、今後、ITC 協会や各ソフト会社が続々と提供されますので、当研究会としてはそれらのツールを導入するための「てびき」のようなものを作成し、診断士に無料で提供することを活動の主題としたいと思っています。その代表的な共通 EDI ツールはあれこれ取り上げてもきりがないので、この種のソフトで最も安価な「弥生の販売管理ソフト」とする考えです。 まだまだ猛威をふるっている第7次コロナ禍が終息しましたら必ず再立ち上げをいたします。しばらくお待ちください。
会員数	5名、活動に参加を希望する会員はいつでも入会していただく
開催頻度	2ヶ月に1回の集合研究、個人作業はテレワークで行う
入会申込み先	主査（代表）：渡辺武久まで fwkz5706@nifty.com

活性化研究会	
活動内容	会員だけでなく、会員以外の参加も認め、会員の広い知識の向上、会員間、その他の方々との交流関係を深めることを行っています。 実務に直結する座学だけでなく、奈良県の自然や歴史に触れたり。会員の研究の成果を発表する場として、広く活動しています。 また、その後親睦会を開催することもあります。
会員数	約80名
開催頻度	2カ月～3カ月に1度
入会申込み先	毎回参加者募集を行いますので、その際お申込みいただくか、保延宛メール(honobe@tkcnf.or.jp)に連絡ください。 参加して頂く場合、原則として実費を頂いています、

新入会員による自己紹介

ふりがな		あさのきょうこ	
氏名		浅野郷子	
連絡先	Tel	080-8060-6875	
	Fax		
	Mail	deerline.lab@gmail.com	
屋号		Deerline Lab.	
登録年度		2022 年 5 月	
転入または重複の支部名			
自己紹介		奈良県中小企業診断士会の皆様、はじめまして。 私は、県立北大和高校（現在は統合により奈良北高校）、関西大学工学部管理工学科を卒業したのち、金型設計用 CAD 開発者として社会人生活をスタートいたしました。 その後二度の転職を経て二十数年間、3D-CAD／PDM、PLM／ALM システムのプリセールスとして、製造業のお客様へシステム提案やシステム導入支援を行ってまいりました。 昨年 5 月に、プロフェッショナルコーチ／IT コーディネータとして独立開業し、昨年度の試験合格を経て中小企業診断士として登録いたしました。 会社員時代は全国各地のお客様を訪問させていただきましたが、今後は生まれ育った地元奈良に軸足を置き、工業にこだわらず農業や観光業にも興味を持ち、積極的に活動していきたいと考えています。 プライベートでは、早朝から愛猫にかじり起こされてアシュタンガヨガを日課とし、毎週末には県外から移住された奈良ソムリエに奈良の歴史を学んでいます。 皆様、どうぞよろしくお願いいたします。	
特技		料理（インド、和惣菜）	
趣味		旅行（国内／韓国／インド／北タイなどアジア各国）、 スポーツ観戦（大相撲／ラグビー／スポーツクライミング）、ガーデニング	

ふりがな	さかもと しょうた		
氏名	阪本 翔太		
連絡先	Tel	080-4395-3266	
	Fax		
	Mail	shota.sakamoto@palette-tech.com	
勤務先または屋号	パレットテクノロジーズ		
登録年度	2022 年度（令和 4 年度）		
転入または重複の支部名	大阪府中小企業診断協会（重複）		
自己紹介	【ご挨拶】 皆様、初めまして。阪本翔太と申します。 私は生まれも育ちも奈良であり、ゆったりと時間の流れる奈良が大好きです。今まで県内で生活拠点を転々としてきました。※橿原市→葛城市→三郷町→奈良市（現在） 【経歴】 大学院を卒業した後は、空調機器メーカーでシステムエンジニアとして 5 年間勤務しておりました。学生時代より起業に興味があり、良いご縁もありまして、節目である 30 歳で独立し IT コンサルタントとして奈良県の事業者様を中心にご支援をしていました。ご支援する中で、経営についてもっと学ぶ必要があると感じ、診断士の資格を取得しました。診断士として活動するようになってから、より多くの事業者様に対してご支援が出来るようになり、大変嬉しく思っています。 【専門分野】 私の専門分野は IT とマーケティングですが、幅広くご支援を出来るようになりたいと思っています。学びと経験を大切に、自分にできることを日々増やしているところです。 【目標】 現在 3 つの目標を掲げて活動しています。 ①事業会社を経営し、社員を雇用すること。 ②診断士として知識・姿勢・経験を身につけ、地域の事業者様をご支援すること。 ③バンビシャス奈良のパートナーになること。 全てにおいて手さぐりで進めている状況ですので、ご指導賜れますと幸いです。 【さいごに】 これから先輩方とお話しさせて頂けること、楽しみにしております。今後とも何卒宜しくお願い致します。		
特技	バスケットボール		
趣味	ゴルフ、プログラミング、料理		

ふりがな	たつみ こうへい		
氏名	辰己 浩平		
連絡先	Tel	090-9092-5700	
	Fax		
	Mail	p-and-biz@shindanshi-tatsumi.com	
勤務先または屋号	P&Biz コンサルティング		
登録年度	2021 年 12 月		
転入または重複の支部名			
自己紹介	初めまして。令和 4 年 4 月より入会させて頂きました辰己浩平と申します。私は生駒郡平群町で生まれ育ち現在は和歌山県和歌山市で暮らしています。出身業界は医療福祉業界となり様々な医療事業、介護事業、障がい者事業に携わり、2023 年 1 月より独立診断士として活動しています。独立後は企業の補助金申請支援、経営計画策定支援、経営相談等のお手伝いをさせて頂いています。私の経営支援スタイルは社長との人間関係性を重視した伴走型スタイルを基本としており、企業が自立した経営が行えるための自立経営支援をモットーとしています。まだまだ修行中であるため先輩診断士の方々に助けを頂きながらの活動となりますが、今までの経験で得たノウハウを奈良県の経済発展の為に役立たせていきたいと思ひます。また私は大のバイク好きであり休日はバイクツーリングによく出かけています。ライダー診断士の方がおられましたら是非一緒にツーリングに行ければ幸いです。診断士としてまだまだ微力なため企業に少しでも良い支援が行えるよう日々精進してまいります。今後ともご指導賜りますようお願い致します。		
特技	情報収集		
趣味	バイク、キャンプ、ボクシング、500 円玉貯金		

ふりがな	まつむら けんじ		
氏名	松村 賢司		
連絡先	Tel	090-8530-5371	
	Fax		
	Mail	kenjimatumura@yahoo.co.jp	
勤務先または屋号	(株)南都銀行		
登録年度	2022 年		
転入または重複の支部名			
自己紹介	南都銀行に勤務しています。2022 年 3 月に兵庫県立大学大学院 地域イノベーションコース（中小企業診断士登録養成課程）を卒業し、5 月に診断士の登録を行いました。診断士として経験不足な面がありますが、奈良県の活性化に貢献できるように取り組んで参りたいと思ひます。ご指導のほどよろしくお願い致します。		
特技			
趣味	ボクシング		

ふりがな		にしの　ともひろ		
氏名		西野　友浩		
連絡先	Tel	090-3485-0739		
	Fax	0742-46-4928		
	Mail	t_nishino@outlook.jp		
勤務先または屋号		西野中小企業診断士事務所		
登録年度		2011 年		
転入または重複の支部名		東京都中小企業診断士協会中央支部（重複）		
自己紹介		大学卒業後入社した事務用品メーカーの「コクヨ株式会社」（33 年間）では、商品開発、業務革新に加え、主に営業担当者並びに営業部門責任者として、BtoB 事業（大企業、中堅企業に対する事務用品販売店に対する営業支援）、BtoC 事業（GMS、CVS、HC、家電量販店に対する直接商談、量販卸並びに有力店売り販売店に対する営業支援）における販売・マーケティング戦略の立案、実行に携わってきました。 その後、中小企業庁に転じ海外展開支援（海外人材育成事業や海外展開支援プラットフォーム事業、海外展開伴走支援事業、海外展開補助金等を所管）に従事。2022 年より中小企業診断士(2011 年登録)として独立し、独自の支援事業と共に奈良県よろず支援拠点コーディネーター、近畿経産局官民合同チームコンサルタント、奈良県事業承継・引継ぎ支援センター等にて主に人材育成や生産性の改善、新商品・新サービス開発等により国内外の事業拡大を目指す中小企業の皆さまの経営力向上を支援しています。 微力ですが、これまでの経験を活かして中小企業の皆さまのお役に立ちたいと考えています。 どうぞよろしくお願いいたします。		
特技		人の話を聴くこと（あくまで自称です。）		
趣味		旅行（国内はほぼ 47 都道府県、海外は欧州、北米州、アジア、豪州をまわってきました）、ゴルフ（キャリアは長いのですが、下手です。）		

◆ 令和 4 年 8 月～12 月開催の予定行事

- ◆ 診断士の日
 - 11 月 5 日（土）19：00～19：29（ならどっと FM にてラジオ放送）
 - 11 月 10 日（木）19：30～19：59（再放送）
- ◆ 理論政策更新研修
 - 第 1 回：9 月 3 日（土）13：00～17：20（12：30 開場）
 - 第 2 回：10 月 8 日（土）13：00～17：20（12：30 開場）
- ◆ 診断助言実務
 - A コース：10 月 22 日～11 月 26 日（全 6 回）
 - B コース：9 月 4 日～10 月 22 日（全 6 回）
- ◆ プロコン育成塾
 - 10 月 30 日～12 月 11 日（全 3 回）